

YM式通気層工法 施工マニュアル



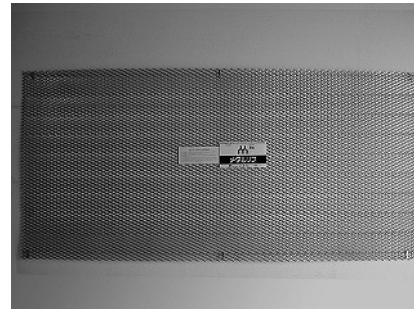
1. 通気工法の使用部材

材料

1. ラス(一般部)

製品名 メタルリブⅡ型

品番 YMR-1B



製品規格

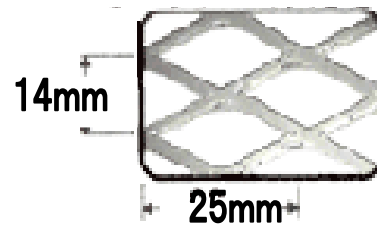
寸法: 950mm×1870mm

リブピッチ: 75mm

リブ山: 6.5mm

裏打ち材: 不織布

メッシュの大きさ



断面図



不織布

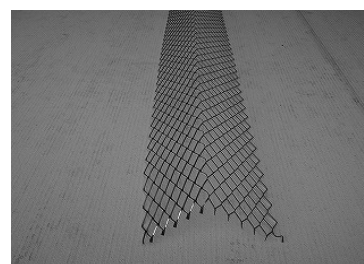
記号	品番	亜鉛版の 厚さ(mm)	裏打ち材	定尺寸法 (mm)			質量 (kg)		1包の 枚数
				山高	巾	長さ	枚	m ²	
YMR Ⅱ型	1-B	0.60	不織布	6.5	950	1,870	1.24	0.7	10
	1-D					2,050	1.36		

* 材質は、高耐食溶融亜鉛めっき鋼板「ZAM」

2. コーナー補強ラス(出入り隅部に使用)

品名	材料の 厚さ(mm)	定尺寸法 (mm)		質量 (kg)	1個の 枚数
		巾	長さ	枚	
コーナー用ラス	0.6	90×90	1,829	0.3	30

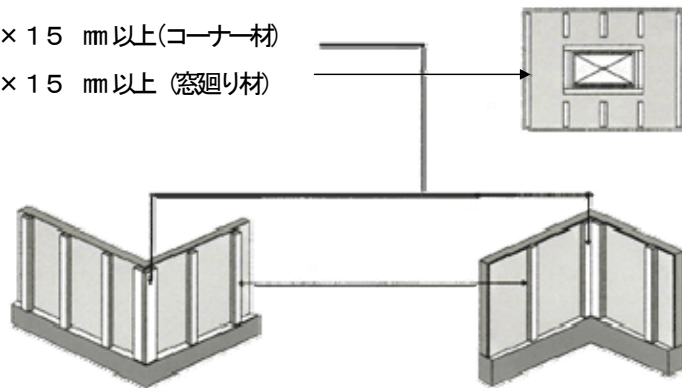
* 材質は JIS G3302 溶融亜鉛メッキ鋼帯製



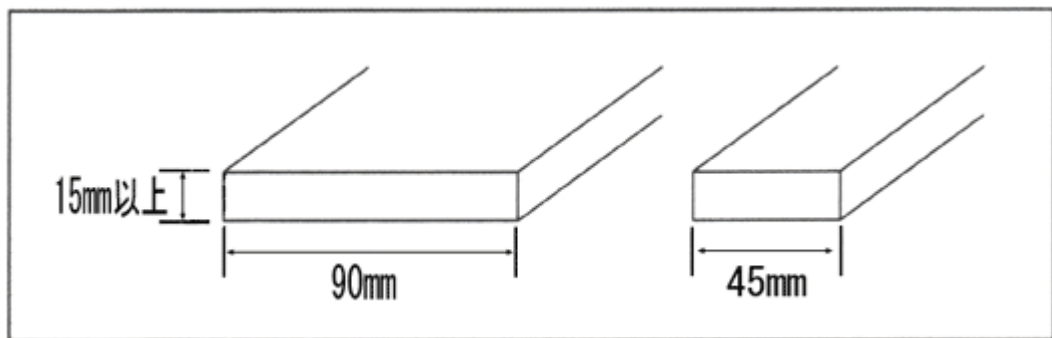
通気工法の使用部材

3. 下地材

- 木胴縁 45×15 mm以上 (胴縁材)
- 90×15 mm以上(コーナー材)
- 90×15 mm以上 (窓廻り材)



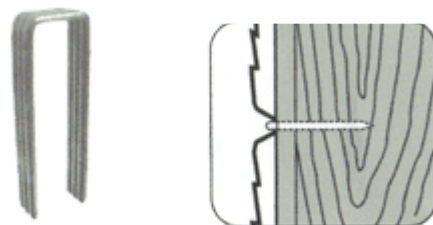
防蟻・防腐処理をした胴縁で開口部、及び出隅入隅部は、90×15mm以上を使用し、その他は45×15mm以上を使用する。



通気工法の使用部材

4. 止め具

- ステーブル止め
ステンレス製 10幅 脚長25mm



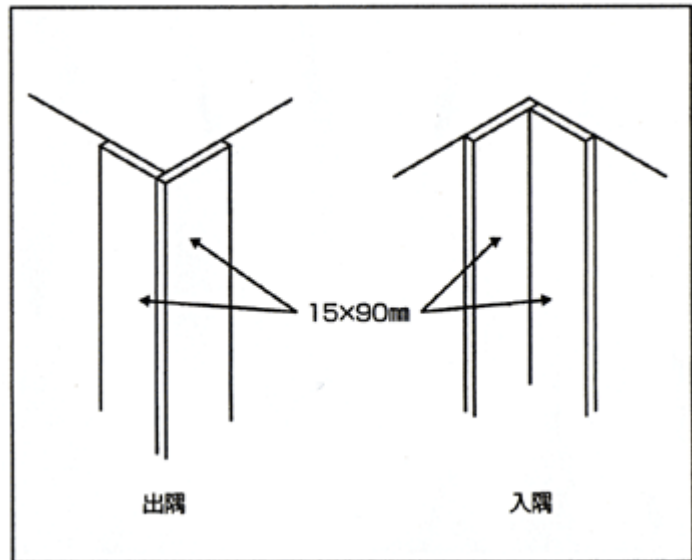
2. 施工方法(下地)

下地胴縁の取付け

コーナー部・窓廻り・軒天等の取付け作業をしてから、227.5mm ピッチ縦貼りにて一般部分の取付け作業をする。固定は木ビスφ3.8mm×32mm以上@600で行う。

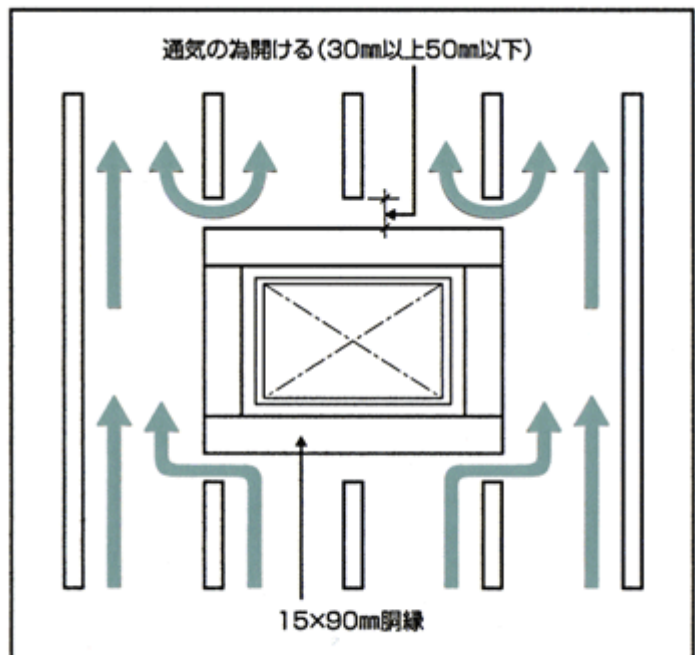
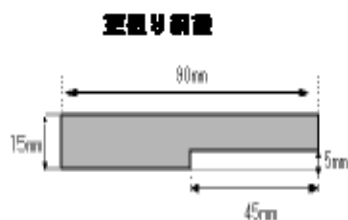
1. コーナー部

出隅・入隅には、胴縁材90×15mm以上を取付ける。



2. 窓廻り

窓廻りには、窓の縁の付けて胴縁材90×15mm以上を全体に取付ける(窓を囲む)。又、サッシつばに当たる部分は、厚み調整の為、胴縁の裏を削りこむ。



← エアーサイクル

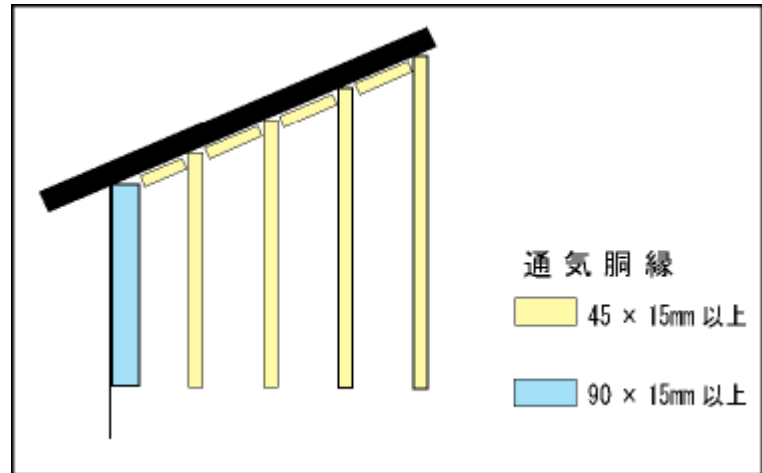
施工方法(下地)

3. 軒天・けらば部分

軒天・付梁など水平部分との取り合いで、リブの近くで貼り終わらない場合、また、けらばの隅こリブの端を止める
ところが無い場合、胴縁の間に通気胴縁を入れる。

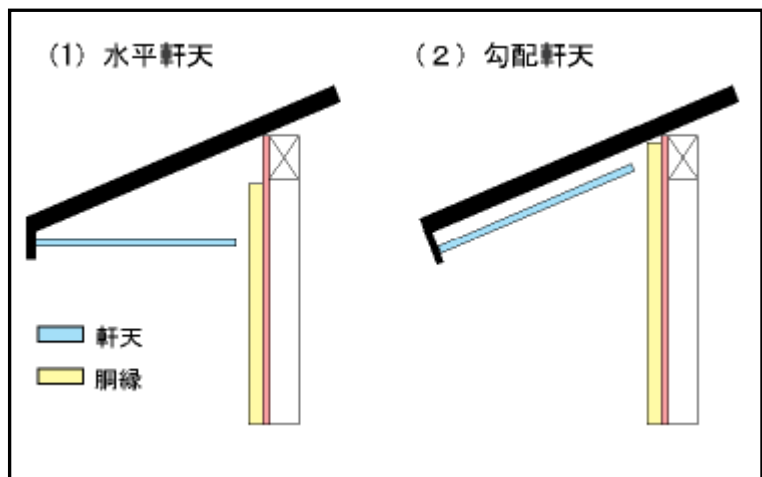
① 妻側

妻側の勾配に合わせて通気用胴縁材を取付ける。



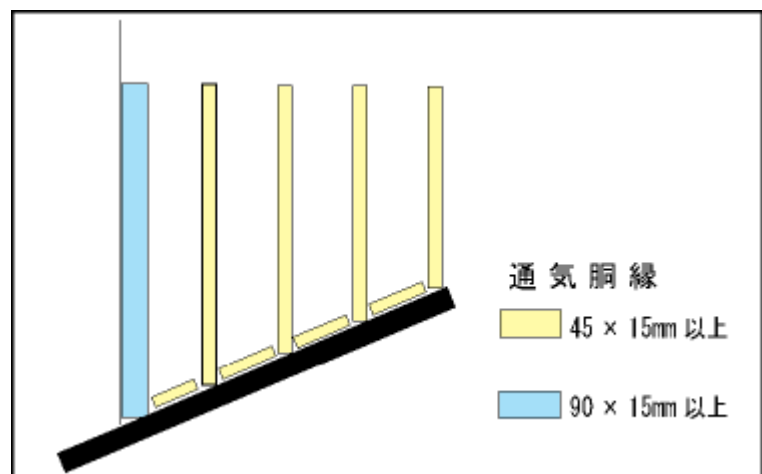
② 軒天

軒天仕上面より通気胴縁を貼り上げる。



③ 下屋

妻側の勾配に合わせて通気用胴縁材を取付ける。



施工方法(下地)

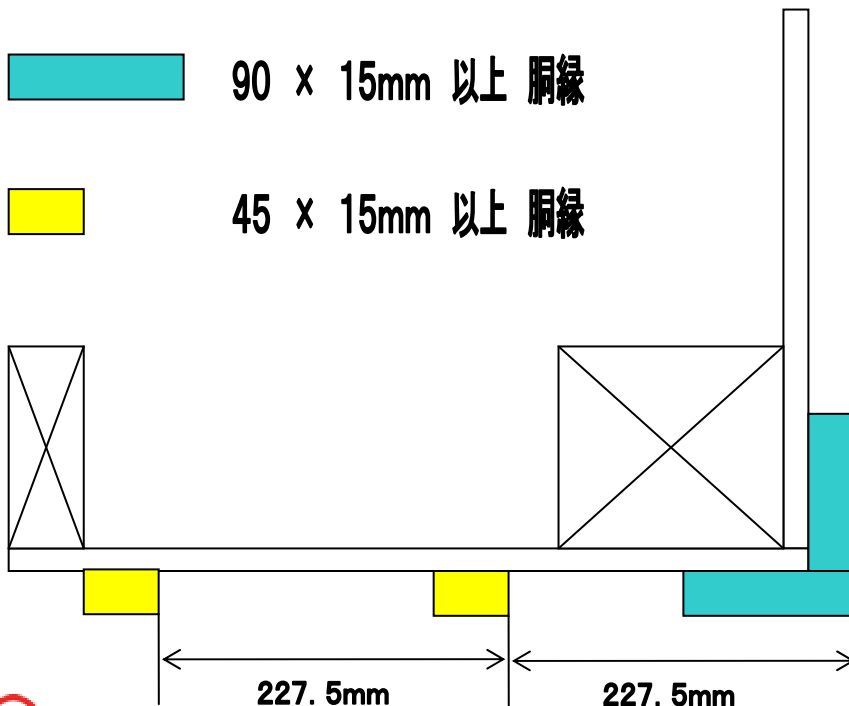
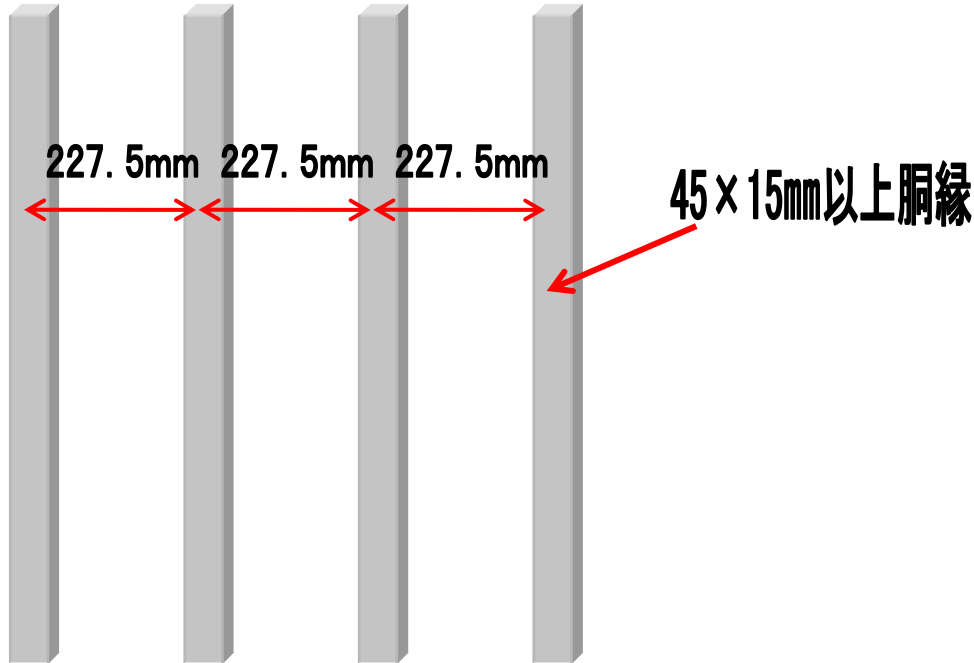
壁構造 特許第3825771号

4. 一般部分

防水工事が完了している事を確認する。

胴縁の取付けは、コーナー部壁面からスタートし、胴縁材45×15mm以上を227.5mmピッチにて縦占りし、止め付ける。

固定は木ビスφ3・8×32mm以上にて行う。



軒天部や、付梁との取合い部分については、胴縁工事が先行する。

●コーナー部分の施工写真



●軒裏・窓廻り部分・たれ壁の施工写真



●出墨コーナー部分の施工写真



●入隅コーナー部分の施工写真



●軒天部分の施工写真



●胴縁一般部分の施工写真



3. 施工方法(ラス貼り)

ラス貼り

1. 止め具の調整

ステーブルは、リップの谷底に浮きの無いよう打ち、リップを潰さないように施工する

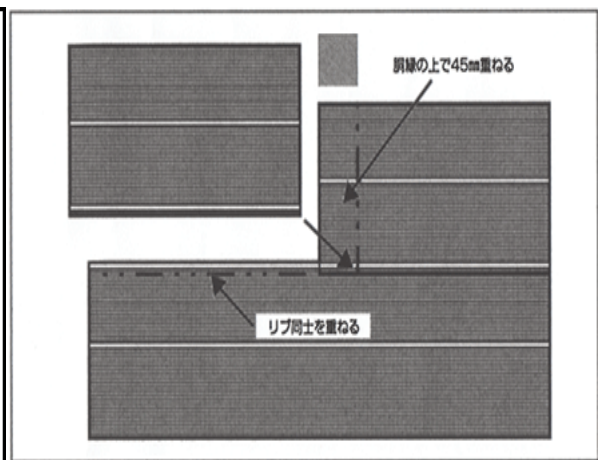
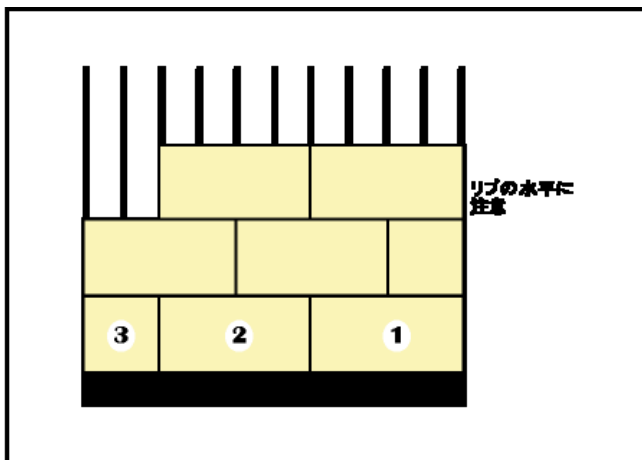


① 打ち込み過ぎるとリップが変形し、弓状にラスが膨れ上がりクラックの原因となります。

施工方法(ラス貼り)

2. 一般部のラス貼り

① メタルリップの施工順序



メタルリップの張り始めは、壁面の右下より水平、垂直を確認し、一枚目を貼り始める。

リップが水平になるように一段目を貼る。リップが斜めに傾いたりズレたりしたら貼り直す。

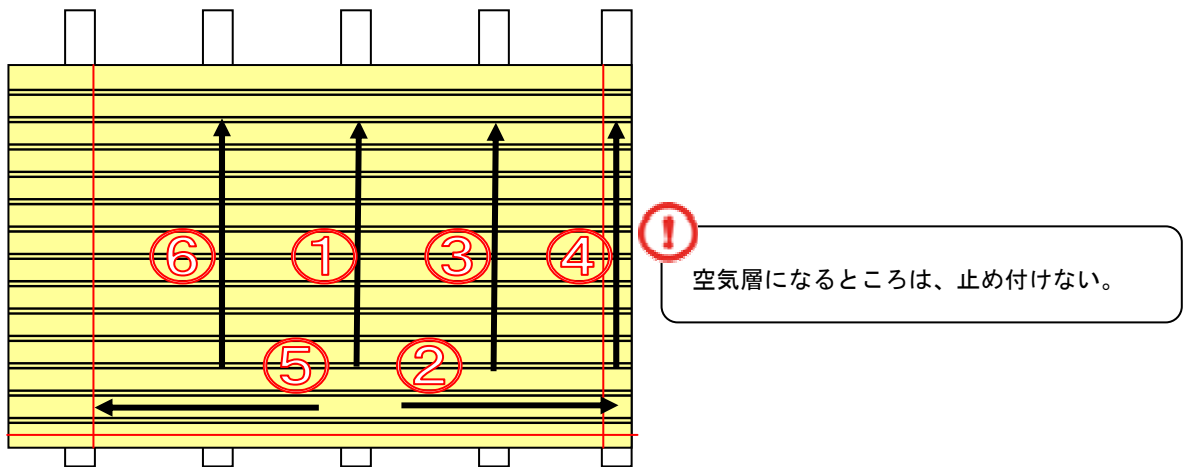
二段目は、一段目のメタルリップより半分ずらして貼り、レンガ積みの要領で三段目、四段目と重ねて貼っていく。

ジョイント部が、4枚重ねにならないように貼る。

横方向は45mm 肋縁の上で重ねる。縦方向は、リップ同士を重ねる。

施工方法（ラス貼り）

② メタルリブの止め方・加工の方法



止め付け方は、メタルリブのジョイント位置を確認してから下図の①～⑥の順番に打ち付けていく。

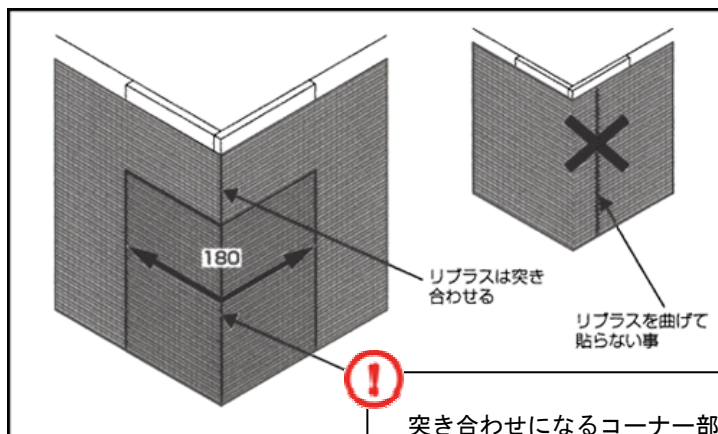
- 胴縁とリブの交点において、必ずリブ溝にリブ用ステーブルで止め付ける。
- ジョイント部のリブは、1枚目に仮止めせず、重ねた上からステーブルで固定する。
- 縦方向は、メタルリブのたわみが無いよう下から上に伸ばすように張り上げていく。
- 横方向は、メタルリブが斜めに傾いたり膨れが無いように貼り付ける。
- 裏打ち材の防水紙が、しわになったり、団子状態にならない様、特にジョイント部では注意する。
- メッシュ部に膨れのある場合は、胴縁の箇所にてステーブルで固定する。
- 胴縁間でメタルリブの重ね部に膨れがある場合は結束線にてリブどうしを固定する。

施工方法（ラス貼り）

3. 出隅・入隅（コーナー部）のラス貼り

コーナー部のメタルリブは、突き合わせて貼る。（ラスを曲げて貼らない）

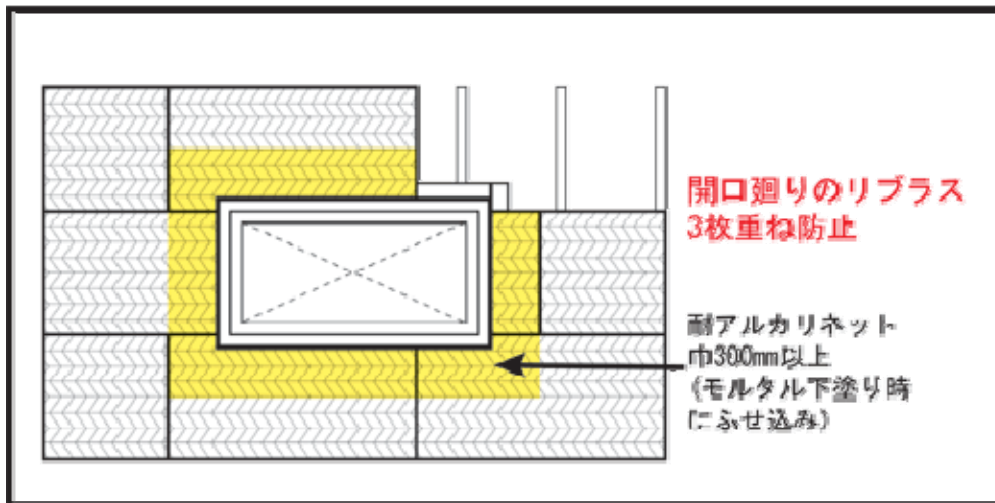
- 突き合わせたコーナー部の上から、コーナー用ラスで補強する。
- コーナー部補強ラスの止め付けは、縦・横70～75mmピッチで補強用ステーブル（PJ1019）にて固定する。



施工方法(ラス貼り)

4. 窓廻りのラス貼り

窓廻りでの3枚重ねジョイントは行わない。

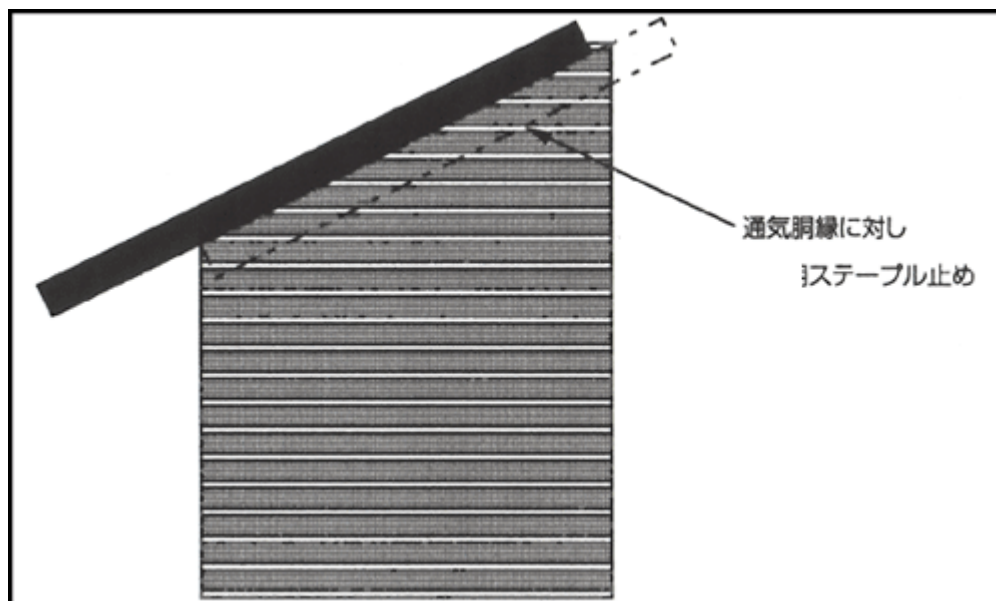


- 窓の両側は、リブを際まで付けて、膨れの無いように貼る。
- 窓の上下部のリブを切り落とす場合は、メッシュ部を変形させないように窓際まで貼り、空き・膨れの無いように補強用ステーブルを75mmピッチで止め付ける。

※開口部補強は、モルタル施工時に耐アルカリネットを使用し行う。また、耐アルカリネットを全面使用する場合は開口部補強は必要ありません。

5. 妻側のラス貼り

メタルリブを妻勾配に合わせて斜めに切り、通気胴縁に対し、メタルリブを際まで貼り付けて、膨れの無いようにステーブルかネジ釘で止め付ける。



4. チェック事項

Y M式通気工法・メタルリブⅡ型施工チェック事項(参考)

施工前の確認

下地胴縁の確認	①	胴縁のピッチは適切か？	
	②	出隅・入隅部の胴縁は直角になっているか？	
	③	窓廻りの胴縁は適切か？	
	④	軒下及び妻側胴縁の納まりは適切か？	
指定材料の 工具の確認	① ラス	メタルリブⅡ型	
		コーナー用ラス	
	② 止め 具	ステーブルステンレス製 PJ1025	
		補強用ステーブル PJ1019 (補強用)	
		エアーカッター機	
		コンプレッサー空気圧 8.5~10kgf/Cm ²	
③ 鋏	リブ切り鋏又は金切鋏		
ラスの確認	①	ラスは指定の材料か？	
	②	ラスの裏打ち防水紙が敗れたり取れたりしていないか？	
	③	ラスに変型は無いか？	

施工中の確認

	①	ジョイント部のリブが、ズレたり跳ねたりしていないか？	
	②	窓廻りの部のラス(特にリブ)が固定されているか？	
	③	窓廻りの部のラス(特にリブ)が跳ね上がっていないか？	
	④	窓廻り、出隅、入隅各部の補強が適切に固定されているか？	
	⑤	ステーブルの打ち方が間違っていないか？	

施工後の確認

ラス貼り全体	①	ラスが水平に貼れているか？	
	②	ステーブルの打ち漏れが無いのか？	
	③	空気層は保たれているか？	
	④	コーナー部に腫れが無いのか？	
	⑤	補強ラスが確実に施工されているか？	
	⑥	壁面全体に膨れやへこみが無いのか？	

対処

- ジョイント部のリブがずれたり跳ねたりしている場合は、施工をやり直す。
- 窓廻り及び開口補強が腫れたり跳ねたりしている場合は、施工をやり直す。